

社会福祉法人赤碕保育園

赤碕こども園



人が育つ場

社会福祉法人赤碕保育園では、現在、幼保連携型認定こども園「赤碕こども園」、子育て支援センター「アトリエ・ラボ」、放課後児童クラブ「しおかぜクラブ」を運営しています。それらに共通している理念は、自ら主体的に生き、環境と対話し、共に学び育つということです。それは具体的に言うならば、子どもや大人が物や人と関わり合い、主体的に学び発達することです。



理事長 福田泰雅

人の育ちは「こうすれば、こうなる」というシステムではありません。むしろ、ピンポンやテニスなどのように、受け取ったボールを相手に返し、そのボールがまた自分に戻ってくるような、やりとりの中で「物語が生まれる」ように行われます。そして、自分が感じたことや考えたことなどを表現し、他者との協同的な学びを展開します。一見すると回り道のようなこれらの生活が人として大切な基礎を育みます。

仲間や保育者だけでなく、保護者や地域の皆さんも子どもを中心とした学びの中で、それぞれ自分らしさを発揮して、互いに学び合える実践の場を理想としています。

人としての生き方を 支える組織の原理

教育・保育の目標

個人の自立と全人格的発達、他者との関係性の発達、家族と地域社会の支え合い、円滑な就学の保障を目標とする。

法人の理念

現在から未来に渡り、個人の自由と社会の自由を実現し、人生を自ら豊かに生きる人を育み、支援する。

教育・保育の理念

感性を基に、自ら学び表現する。瞬間を豊かに生きる子どもを育み、葛藤を乗り越え、互いを活かし合い、学び合う共同体を創造する。子どもと社会の願いを実現し、未来を切り開く力の基礎を培う。

教育・保育の目的

乳幼児の最善の利益を実現するため、生命を保持し、情緒の安定、身体的発達、情緒の発達、認知的発達などを図る。

施設概要

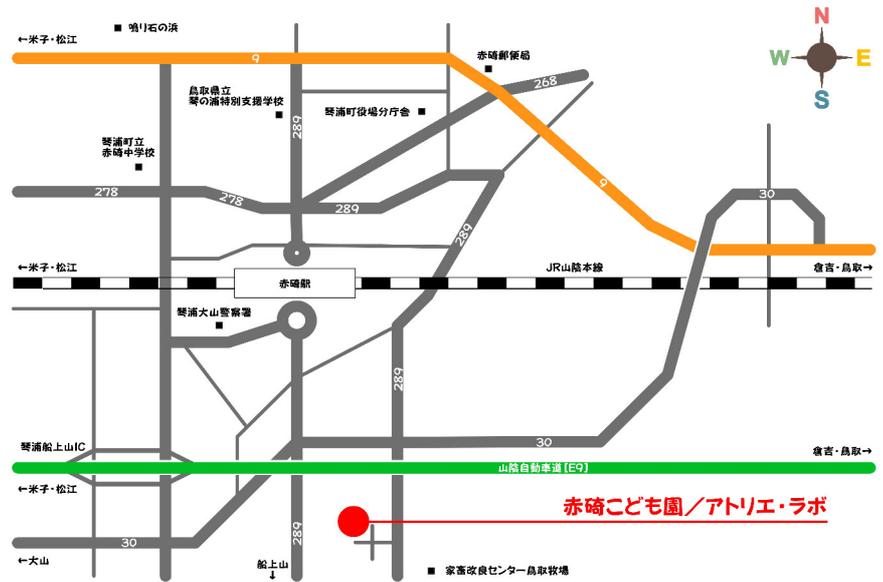
施設名 赤碕こども園

施設形態 幼保連携型
認定こども園

所在地 〒689-2501
鳥取県東伯郡琴浦町
赤碕1867-8

アクセス 赤碕駅より
→ 車：5分
→ 徒歩：10分

TEL 0858-55-0708



ホームページ <http://akasaki-kodomoen.jp>



YouTubeチャンネル



受け入れ児童 生後8週間から小学校就学前までの乳幼児 (入園・育児相談、施設見学OK)

定員 100名

最大開園時間 7:15~18:45

利用時間	【1号認定】	【2・3号認定】
	教育標準時間 8:15~16:15	保育短時間 8:15~16:15 保育標準時間 7:15~18:15

休園日 日曜日、祝日、年末年始

園長 徳田 憲生

従業員数 39名 (2024年1月現在)

1936.04.01	福田信雄初代園長と福田富代保母により、常設保育所「和光託児園」を創設。
1940.12.07	新館増築。赤碕隣保館として赤碕町の指定を受け、活用される。「赤碕保育園」と改称。
1956.01.25	赤碕保育園を個人立より宗教学法人立「専称寺」へ管理移管。
1973.03.20	宗教学法人立を改組して社会福祉法人の認可を受ける。福田泰道が初代理事長に就任。
1987.12.30	福田雅子が第2代園長に就任。
1995.03.15	新園舎〔鳥取県東伯郡赤碕町(現 琴浦町) 赤碕1867-8〕が完成。
1999.04.01	福田泰雅が第3代園長に就任。
2001.04.01	3歳以上児異年齢混合保育を開始。園庭、室内を整備。
2004.06.26	福田泰雅が第2代理事長に就任(兼任)。
2004.12.20	ソニー教育財団「幼児教育支援プログラム“科学する心を育てる”」にて、プロジェクト・アプローチによる保育実践を論文応募し、優秀賞を受賞。
2012	イタリアのレッチョ・エミリア市での研修会にて、保育実践を報告。
2015.03.21	福田泰雅園長と磯部錦司氏(椋山女学園大学教授)の執筆により、赤碕保育園の保育実践を収録した著書『保育のなかのアート』が小学館より出版。
2016.04.01	赤碕保育園を廃止し、幼保連携型認定こども園「赤碕こども園」として開園。片桐隆嗣が第4代園長に就任。
2020.04.01	徳田憲生が第5代園長に就任。